

令和7年度 e・アンケートモニター
第1回アンケートNo.2 調査結果
テーマ 「3Rの推進について」

I 調査の概要

1 調査の目的

県では、ごみの減量やリサイクルによる循環型社会の実現に向けて、プラスチックごみ削減や食品ロス削減に関する普及啓発や、環境学習など、3R※県民運動を展開しているところです。

※ 3Rとは、以下の3つの取組の頭文字を組み合わせた言葉のこと

- ・Reduce (リデュース) ごみを減らす
- ・Reuse (リユース) 繰り返し使う
- ・Recycle (リサイクル) 資源として使う

3Rに関する取組をさらに推進するため、県民の皆様の意識や実際の取組状況についてお伺いします。

2 調査実施期間

令和7年8月29日(金)～9月12日(金)

3 調査対象

令和7年度e・アンケートモニター 100人

4 回答状況

回答者 84人(回答率 84%)

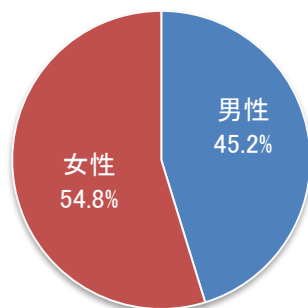
5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

(n = 84)

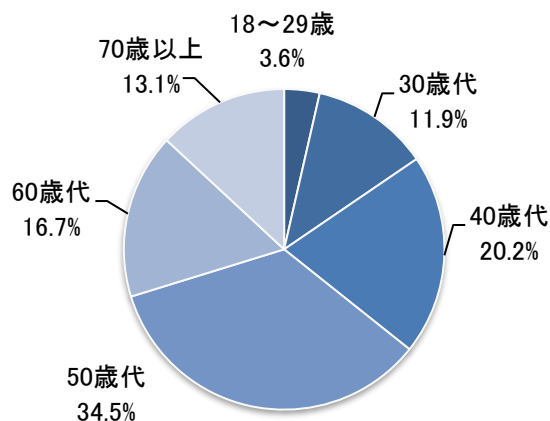
II 回答者の属性

■性 別



区分	人数	%
男性	38	45.2
女性	46	54.8
計	84	100.0

■年代別



(n = 84)

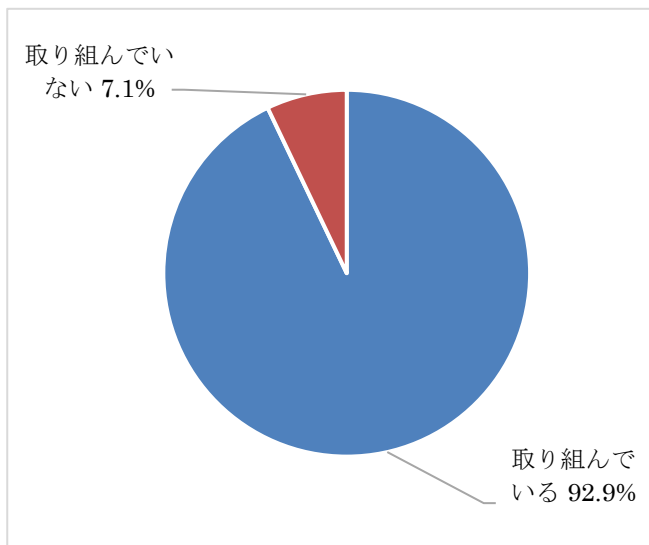
区分	人数	%
18～29 歳	3	3.6
30 歳代	10	11.9
40 歳代	17	20.2
50 歳代	29	34.5
60 歳代	14	16.7
70 歳以上	11	13.1
計	84	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【3Rの取組について】

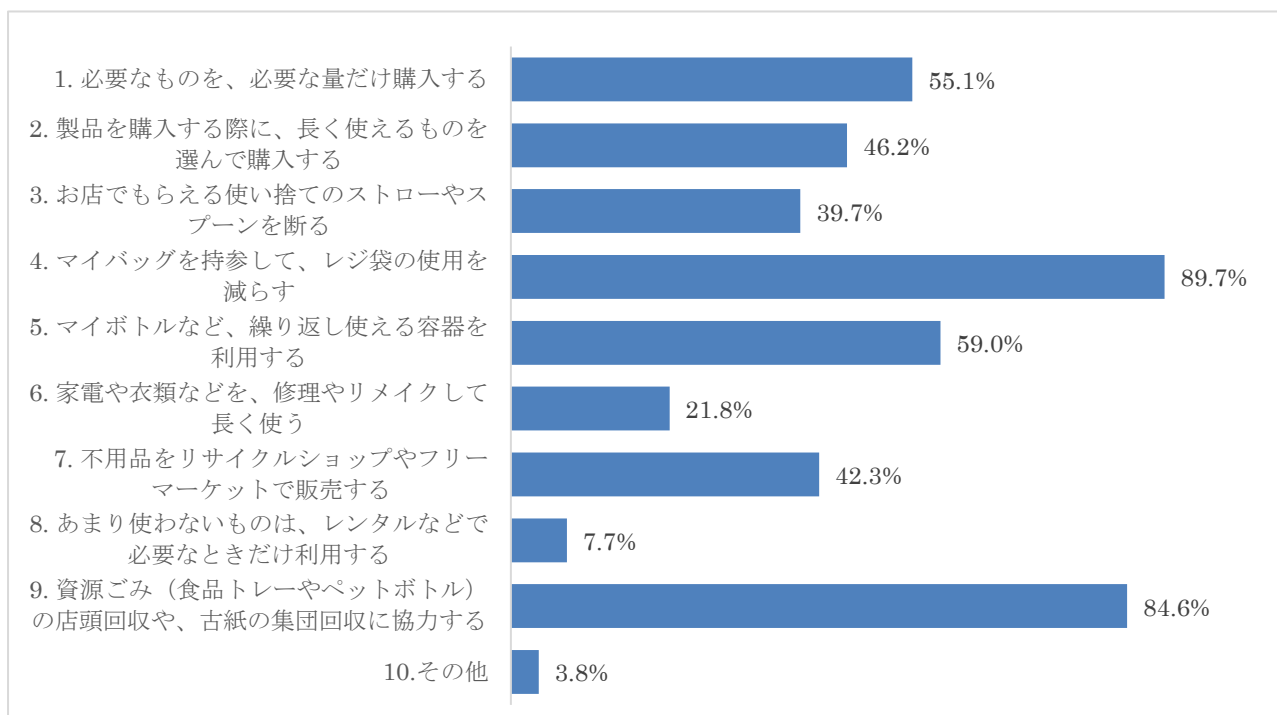
Q 1 ごみの減量やリサイクルを進めるには、一人一人が3 Rに取り組むことが重要です。あなたは、日常生活で3 Rに取り組んでいますか。(1つのみ)



(n = 84)

選択肢	人数	%
取り組んでいる(Q2へ)	78	92.9
取り組んでいない(Q3へ)	6	7.1
計	84	100.0

Q 2 【Q 1で「1. 取り組んでいる」と答えたかたのみ】あなたが、日常生活で実践している3 Rの取組を教えてください。(いくつでも)

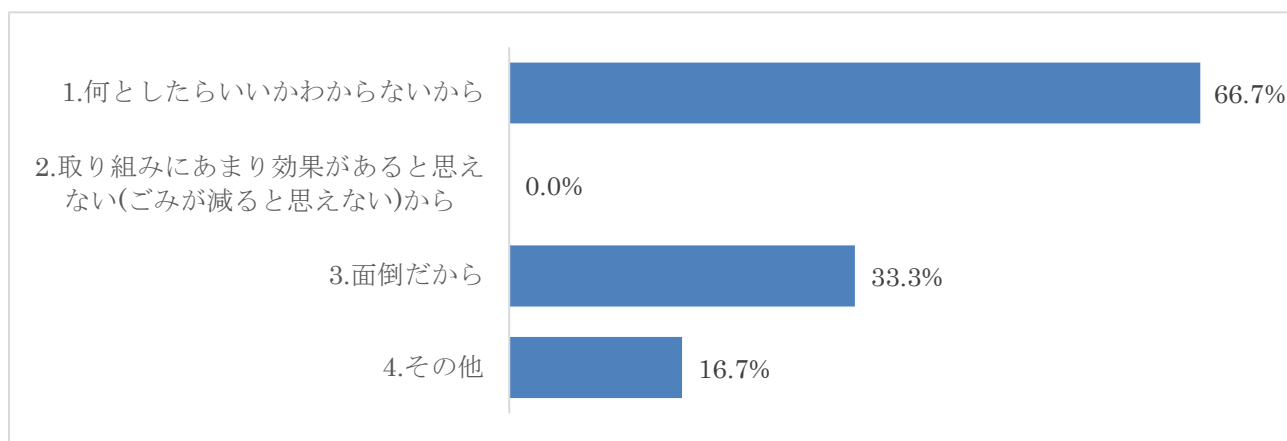


(n = 78)

選択肢	人数	%
1. 必要なものを、必要な量だけ購入する	43	55.1
2. 製品を購入する際に、長く使えるものを選んで購入する	36	46.2
3. お店でもらえる使い捨てのストローやスプーンを断る	31	39.7
4. マイバッグを持参して、レジ袋の使用を減らす	70	89.7
5. マイボトルなど、繰り返し使える容器を利用する	46	59.0
6. 家電や衣類などを、修理やリメイクして長く使う	17	21.8
7. 不用品をリサイクルショップやフリーマーケットで販売する	33	42.3
8. あまり使わないものは、レンタルなどで必要なときだけ利用する	6	7.7
9. 資源ごみ(食品トレーやペットボトル)の店頭回収や、古紙の集団回収に協力する	66	84.6
10. その他	3	3.8

Q3 【Q1で「2. 取り組んでいない」と回答した方のみ】

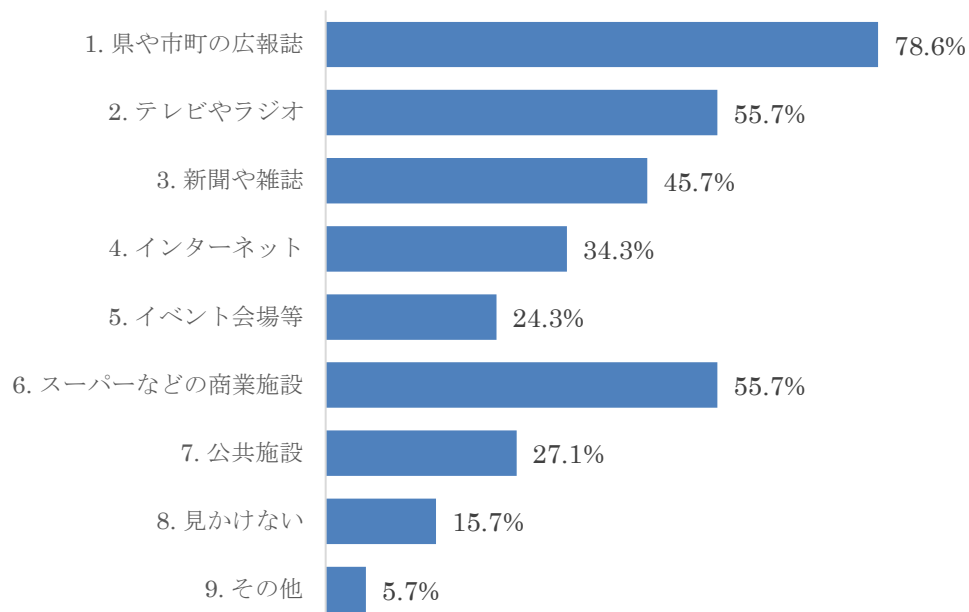
あなたが、3Rに取り組んでいない理由を教えてください。(いくつでも)



(n = 6)

選択肢	人数	%
1. 何をしたりいいかわからないから	4	66.7
2. 取り組みにあまり効果があると思えない(ごみが減ると思えない)から	0	0
3. 面倒だから	2	33.3
4. その他	1	16.7

Q 4 普段の生活の中で、3Rに関する情報を見たり、聞いたりすることはありますか。
 あなたが、3Rに関する情報を見聞きする場所について、該当するものを教えてください。
 (いくつでも)



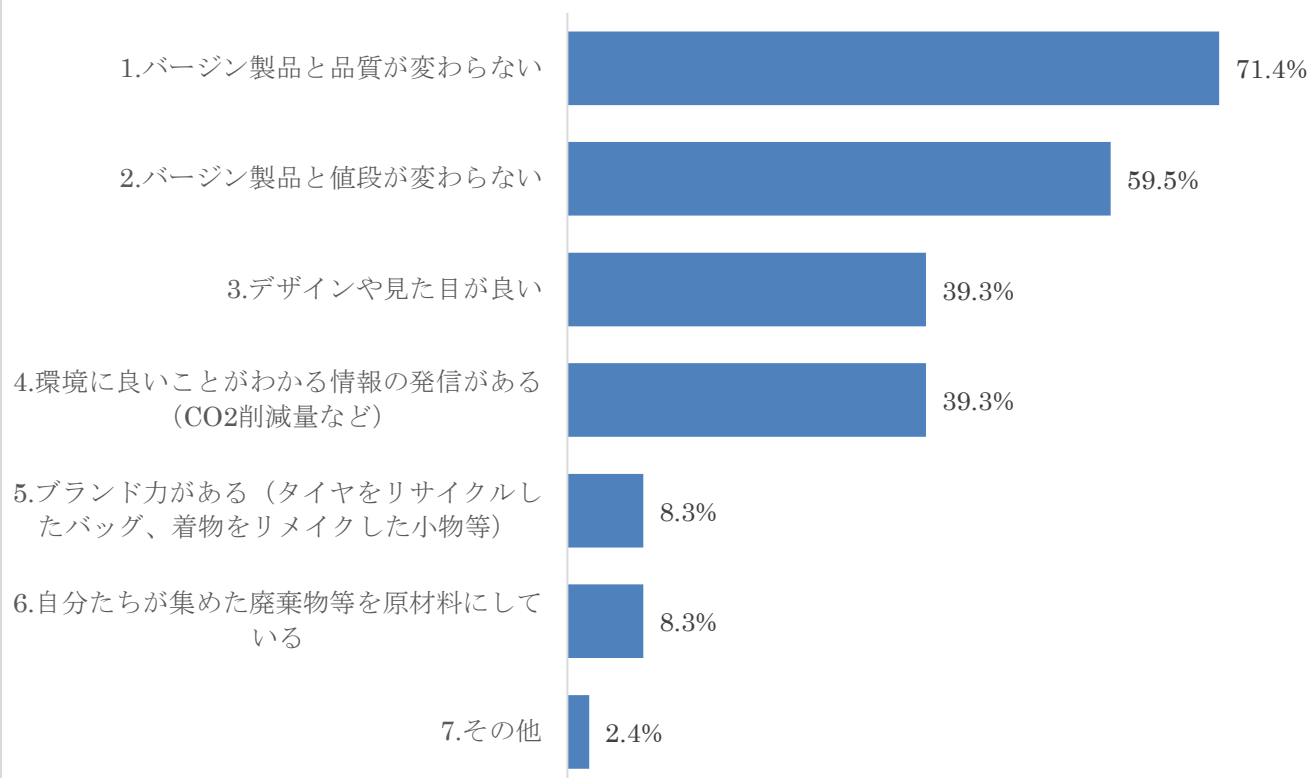
(n = 84)

選択肢	人数	%
1. 県や市町の広報誌	55	78.6
2. テレビやラジオ	39	55.7
3. 新聞や雑誌	32	45.7
4. インターネット	24	34.3
5. イベント会場等	17	24.3
6. スーパーなどの商業施設	39	55.7
7. 公共施設	19	27.1
8. 見かけない	11	15.7
9. その他	4	5.7

Q5 3Rを進めるためには、バージン製品（天然資源を原材料として製造した製品）ではなく、リサイクル製品（使い終わった廃棄物を原材料として製造した製品）を多くの人に使ってもらうことが必要です。

一方で、リサイクル製品は、使い終わった廃棄物を集めたり、原材料として使うための処理などで手間がかかるため、バージン製品より価格が高くなることがあります。

バージン製品とリサイクル製品があった場合、あなたが、リサイクル製品を選んでもよいと思う理由があれば、教えてください。（いくつでも）



(n = 84)

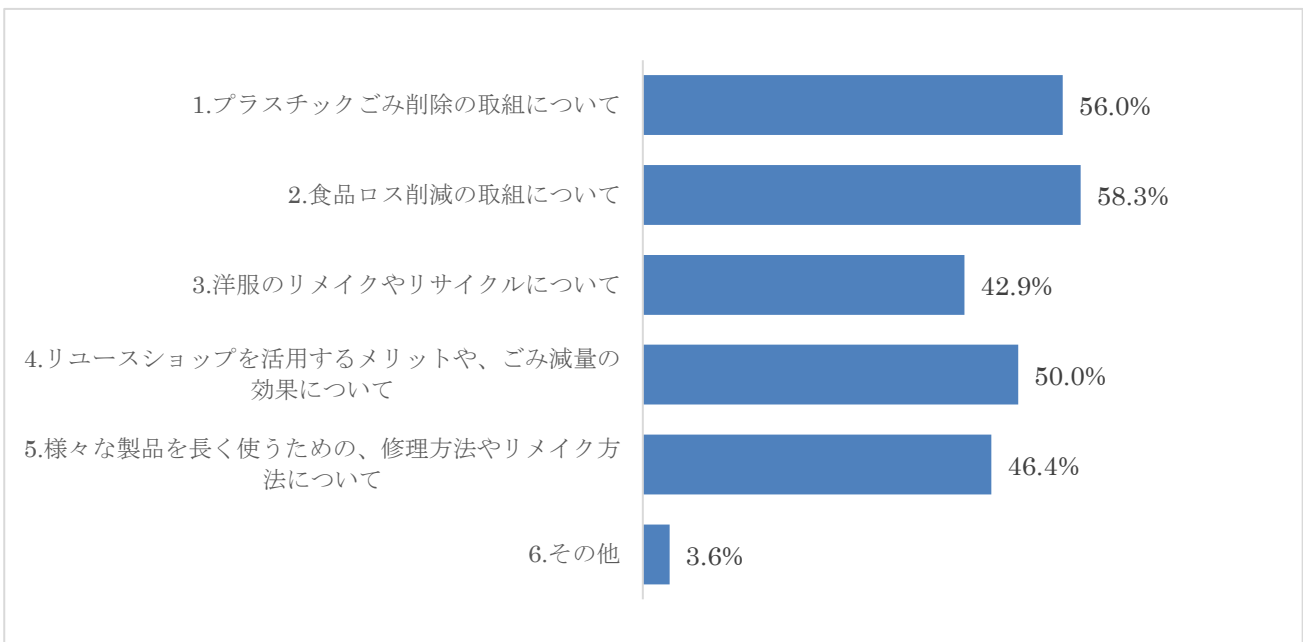
選択肢	人数	%
1. バージン製品と品質が変わらない	60	71.4
2. バージン製品と値段が変わらない	50	59.5
3. デザインや見た目が良い	33	39.3
4. 環境に良いことがわかる情報の発信がある (CO ₂ 削減量など)	33	39.3
5. ブランド力がある (タイヤをリサイクルしたバッグ、着物をリメイクした小物等)	7	8.3
6. 自分たちが集めた廃棄物等を原材料にしている	7	8.3
7. その他	2	2.4

【環境学習について】

Q 6 県では、ごみの減量やリサイクルの取組について学んで、実際に取り組んでもらうために、学校や地域での環境学習を実施しています。
あなたが、学んでみたいと思うテーマを教えてください。(いくつでも)

(n = 84)

選択肢	人数	%
1. プラスチックごみ削減の取組について	47	56.0
2. 食品ロス削減の取組について	49	58.3
3. 洋服のリメイクやリサイクルについて	36	42.9
4. リユースショップを活用するメリットや、ごみ減量の効果について	42	50.0
5. 様々な製品を長く使うための、修理方法やリメイク方法について	39	46.4
6. その他	3	3.6



Q 7 3Rの推進について、ご意見・ご要望があれば自由に記載してください。(自由記述)

省略